

2012年9月13日

トヨタホーム株式会社

スマートハウス「シンセ・アスイエ」を改良

トヨタホーム株式会社（以下トヨタホーム、名古屋市東区泉1-23-22、取締役社長森岡仙太）は、スマートハウス「[シンセ・アスイエ](#)」を改良し、10月6日（土）に全トヨタホーム販売店を通じて発売します。お客様が求めるプランへの対応力を上げるとともに、蓄電池にポータブルタイプのリチウムイオン電池を採用するなど装備を充実し、スマートハウスへの幅広いニーズに対応します。

「[シンセ・アスイエ](#)」は2011年11月にトヨタホームのスマートハウス第1弾として発売しました。今回の改良では、構造体であるユニットの組み合わせパターンと「[シンセ・アスイエ](#)」の特徴である「ファサードアイコン」（建物の正面に逆L字を配置したデザイン）のバリエーションを増やしました。これにより、敷地の形状などによって制約されていたプランが、より多くのご要望にお応えできるようになりました。

[スマートハウス「シンセ・アスイエ」ご紹介ページはこちら](#)

新たに採用したリチウムイオン電池の蓄電池は容量が1kWh。サイズは幅601mm×高さ330mm×奥行288mm、非常時にさまざまな場所で使用できるよう4輪キャスターを付けて移動を容易にしました。

また太陽光発電システムの保証期間をこれまでの10年から15年に延長し、より安全安心のスマートハウスを提案します。

トヨタホームのスマートハウスは今後も進化しつづけ、省エネと地球環境保全に貢献します。

価格：3.3㎡当たり税込み62.5万円～

販売目標：300戸/2012年度



「シンセ・アスイエ」

以上

《本件に関するお問い合わせ》

※本内容はニュースリリース時点の内容となります。

ニュースリリース以後の内容は、トヨタホーム各販売会社へご確認下さい。

[展示場一覧へ](#)